

# けんしゅうしましよ

7号

R6. 12. 23

文責 岩井

こもれび学級2組

単元名 自立活動

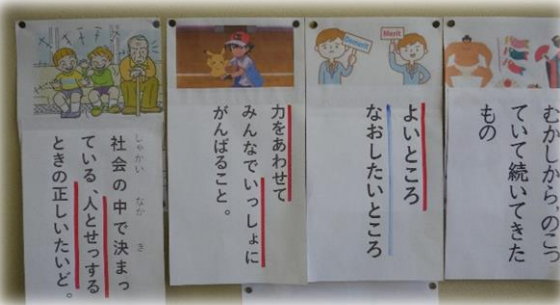
「いろいろな言葉にふれよう」

授業者 村上 靖



日々の積み重ねを大切にされている村上学級の児童が、これまで着実に積み重ねてきた力を存分に発揮していた授業でした。先生の声かけ・雰囲気・掲示物、どれも大変学びの多い学習でしたが、何よりも村上先生が児童の実態を的確に把握し、教材選び・授業の構成を考えられていたのがとても伝わってくる学習でした。授業を公開してくださった村上先生、誠にありがとうございました。

- ・安心感のある雰囲気がとてもよかった。児童にいつもの流れが定着していることも安心感につながっていた。また、後ろには積み重ねが分かる掲示物があった。日頃から積み重ねているからこそ、児童も次の見通しをもつことができていた。
- ・身近な題材のため子どもたちも考えやすかったように感じた。
- ・お休み報告会は先生の例が児童への安心感となり、児童も戸惑うことなく進めていた。
- ・村上先生の児童への言葉掛けにより、児童がお客さんにならず、授業をみんなでつくり上げていく雰囲気があった。
- ・細かに言葉かけをしていくことで、学習内容の理解が進むように感じた。
- ・表現の選択肢が良かった(ロイロ・キャンバ)。児童が自分に合った方法で取り組めるのは学習意欲の向上にもつながる(ICTを当たり前のように使いこなす児童の姿、すばらしかったです)。
- ・いつ・どこでのキーワードがあることで、児童が情報を整理して伝えることができていた。
- ・場面絵を見て想像するのが難しいように感じたので、動画を活用してもよかった。
- ・先生の言葉かけで「いつ」「どこで」の他に内容について「あなたも行ったことあるの？」のような問いかけをすることでより話し手に興味をもって聞けるのでは。
- ・教師とのやりとりだけでなく、子ども同士の交流ができるとよかった。例えば事前に日記を書かせておくと、発表の中でより交流が充実すると思われる(自己理解や自己肯定感へ)
- ・Tくんが先生の話聞いてすぐに「親切」と発言した場面があった。すぐに答えてしまわぬように、本時の課題とは別に個別の課題「自分にブレーキ」のようなことを自立の小さな目標にしてもよい。
- ・「教えない」「教える」の部分をもっと深められるとよかった。困っている人がいれば何でも助けてよいのかということ、そうでもないこともある。答えを教えるのはその人のためにならず、本人も助けてほしいと思っていないこともある。



2学期もこれで終了となります。ご協力ありがとうございました。次回は藤崎先生の指導案検討を予定しています。3学期も授業実践がんばりましょう！